

水道事業評価(令和7年度)					担当課	料金課
1 事業情報	持続	基本政策	6 経営基盤の強化	施 策	6-1 財政基盤の強化	事 業
目指すべき方向性	持続	基本政策	6 経営基盤の強化	施 策	6-1 財政基盤の強化	6-1-2 収納率の向上

2 事業評価の概要

項目	内容							
基本政策	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。							
事業目的	財政基盤を強化するとともに、料金負担の公平性を確保するため、収納率の向上を図ります。							
取組内容、数値目標及びスケジュール（単年度）	・収納率向上や債権管理の適正化のため、水道料金支払いにおけるキャッシュレス決済を推進します。 ・現年度収納率の維持及び過年度収納率の向上が図られているか検証します。							
期間	令和7年4月 ～ 令和8年3月							
予算額 決算額		予算額			決算額			執行率
	単位：千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位：%
	事業費計	0	0	0	0	0	0	
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
	人件費	1,743			1,743			100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	-	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	-		
進捗状況	・令和2年度より実施しているクレジットカード決済・スマートフォン決済・口座振替割引制度により、水道料金のキャッシュレス化に取り組んでいます。 ・現年度収納率は81.67%、過年度収納率は94.12%(9月末時点)であり、去年同期(現年度81.23%、過年度93.14%)と比較し、ともに向上しています。			

4 終了時評価(事業の達成状況)

達成状況	・水道料金等支払いのキャッシュレス化に取り組み、キャッシュレス決済利用率が前年度に比べ向上しました。 ・弁護士法人による未収金回収業務委託や、他市への居所不明者調査を行い、未収債権の回収に取り組んでいます。 ・現年度収納率は94.79%、過年度収納率は95.35%であり、令和6年度実績(現年度91.03%、過年度95.53%)と比較したところ、過年度は横ばい、現年度は2月、3月に実施した基本料金無償化の影響から大きく上昇しています。
------	--

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R7	R8	R9	R10
指標名	収納に占めるキャッシュレス決済利用率	単位	%	目標値	74.01			
算出式・根拠	(現年度キャッシュレス決済水栓数/現年度総収納水栓数)				実績値	74.97		
指標名	過年度収納率	単位	%	目標値	95.53			
算出式・根拠	(過年度収納額/過年度調定額)				実績値	95.35		
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠					実績値			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠					実績値			

6 視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	A	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	B
	目的に対する実施内容	A		情報発信の実施	A
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	A	組織学習	職員の知識向上のための取組み	B
	投入した費用・労力に対する成果	A		知識の伝達	B
評価理由(特記事項)					総合評価
・キャッシュレス決済の利用促進のため、積極的な広報やチラシ配布を行い、利用者の増加につながりました。					A

7 今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
・債権管理の適正化やお客様サービス向上のため、キャッシュレス決済を今後も推進していきます。 ・水道事業を実施するための原資である水道料金について、収納率向上のための取り組みを継続していきます。	現状維持で継続